



取扱説明書

製品名称

真空用フィルタ

型式 / シリーズ / 品番

AFJ20-(F, N)01~(F, N)02(B)-(5, 40, 80)-(S, T)(-6, R, Z)-D

AFJ30-(F, N)02~(F, N)03(B)-(5, 40, 80)-(S, T)(-6, R, Z)-D

AFJ40-(F, N)02~(F, N)04(B)-(5, 40, 80)-(S, T)(-6, R, Z)-D

SMC株式会社

目次

	ページ
1. 安全上のご注意	2~6
2. 用途	7
3. 標準仕様	7
4. 型式表示方法	8
5. 構造図／オプション／交換部品	9
6. ケースアセンブリ仕様	10
7. オプション品の組立	11
8. 故障と対策	12
9. 交換作業要領	13~16
9-1. ケースアセンブリ交換	13~14
9-2. エレメント交換	15~16
10. 分解図	17
11. 外形寸法図	18



安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。これらの事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「注意」「警告」「危険」の三つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですから、国際規格（ISO/IEC）、日本産業規格（JIS）※¹）およびその他の安全法規※²）に加えて、必ず守ってください。

※1) ISO 4414: Pneumatic fluid power — General rules and safety requirements for system and their components

ISO 4413: Hydraulic fluid power — General rules and safety requirements for system and their components

IEC 60204-1: Safety of machinery — Electrical equipment of machines (Part 1: General requirements)

ISO 10218-1: Robots and robotic devices — Safety requirements for industrial robots — Part 1: Robots

JIS B 8370: 空気圧-システム及びその機器の一般規則及び安全要求事項

JIS B 8361: 油圧-システム及びその機器の一般規則及び安全要求事項

JIS B 9960-1: 機械類の安全性 - 機械の電気装置 (第1部: 一般要求事項)

JIS B 8433-1: ロボット及びロボティックデバイス—産業用ロボットのための安全要求事項-第1部: ロボット

※2) 労働安全衛生法 など



危険

切迫した危険の状態で、回避しないと死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。



警告

取扱いを誤った時に、人が死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。



注意

取扱いを誤った時に、人が傷害を負う危険が想定される時、および物的損害のみの発生が想定されるもの。

警告

- ① 当社製品の適合性の決定は、システムの設計者または仕様を決定する人が判断してください。
ここに掲載されている製品は、使用される条件が多様なため、そのシステムへの適合性の決定は、システムの設計者または仕様を決定する人が、必要に応じて分析やテストを行ってから決定してください。このシステムの所期の性能、安全性の保証は、システムの適合性を決定した人の責任になります。常に最新の製品カタログや資料により、仕様の全ての内容を検討し、機器の故障の可能性についての状況を考慮してシステムを構成してください。
- ② 当社製品は、十分な知識と経験を持った人が取扱ってください。
ここに掲載されている製品は、取扱いを誤ると安全性が損なわれます。
機械・装置の組立てや操作、メンテナンスなどは十分な知識と経験を持った人が行ってください。
- ③ 安全を確認するまでは、機械・装置の取扱い、機器の取外しを絶対に行わないでください。
 1. 機械・装置の点検や整備は、被駆動物体の落下防止処置や暴走防止処置などがなされていることを確認してから行ってください。
 2. 製品を取外す時は、上記の安全処置がとられていることの確認を行い、エネルギー源と該当する設備の電源を遮断するなど、システムの安全を確保すると共に、使用機器の製品個別注意事項を参照、理解してから行ってください。
 3. 機械・装置を再起動する場合は、予想外の動作・誤動作が発生しても対処できるようにしてください。
- ④ 当社製品は、製品固有の仕様外での使用はできません。次に示すような条件や環境で使用するには開発・設計・製造されておりませんので、適用外とさせていただきます。
 1. 明記されている仕様以外の条件や環境、屋外や直射日光が当たる場所での使用。
 2. 原子力、鉄道、航空、宇宙機器、船舶、車両、軍用、生命および人体や財産に影響を及ぼす機器、燃焼装置、娯楽機器、緊急遮断回路、プレス用クラッチ・ブレーキ回路、安全機器などへの使用、およびカタログ、取扱説明書などの標準仕様に合わない用途の使用。
 3. インターロック回路に使用する場合。ただし、故障に備えて機械式の保護機能を設けるなどの2重インターロック方式による使用を除く。また定期的に点検し正常に動作していることの確認を行ってください。



安全上のご注意

注意

当社の製品は、自動制御機器用製品として、開発・設計・製造しており、平和利用の製造業向けとして提供しています。製造業以外でのご使用については、適用外となります。

当社が製造、販売している製品は、計量法で定められた取引もしくは証明などを目的とした用途では使用できません。

新計量法により、日本国内でSI単位以外を使用することはできません。

保証および免責事項/適合用途の条件

製品をご使用いただく際、以下の「保証および免責事項」、「適合用途の条件」を適用させていただきます。下記内容をご確認いただき、ご承諾のうえ当社製品をご使用ください。

『保証および免責事項』

- ①当社製品についての保証期間は、使用開始から1年以内、もしくは納入後1.5年以内、いずれか早期に到達する期間です。^{*3)}
また製品には、耐久回数、走行距離、交換部品などを定めているものがありますので、当社最寄りの営業拠点にご確認ください。
- ②保証期間中において当社の責による故障や損傷が明らかになった場合には、代替品または必要な交換部品の提供を行わせていただきます。なお、ここでの保証は、当社製品単体の保証を意味するもので、当社製品の故障により誘発される損害は、保証の対象範囲から除外します。
- ③その他製品個別の保証および免責事項も参照、ご理解の上、ご使用ください。

※3) 真空パッドは、使用開始から1年以内の保証期間を適用できません。

真空パッドは消耗部品であり、製品保証期間は納入後1年です。

ただし、保証期間内であっても、真空パッドを使用したことによる摩耗、またはゴム材質の劣化が原因の場合には、製品保証の適用範囲外となります。

『適合用途の条件』

海外へ輸出される場合には、経済産業省が定める法令(外国為替および外国貿易法)、手続きを必ず守ってください。

設計上のご注意

⚠ 警告

- ① 周囲雰囲気上、漏れが許容できない場合は使用できません。
また、空気以外の流体も使用できません。
- ② 外部には、ケース(材質:ポリカーボネート)などの樹脂部品を使用しています。シンナー、アセトン、アルコール、塩化エチレンなどの有機溶剤、硫酸、硝酸、塩酸などの化学薬品、切削油、合成油、エステルベースのコンプレッサー油、アルカリ、灯油、ガソリン、ねじロック剤などの雰囲気 または、付着する場所でのご使用はできません。

ポリカーボネートケースとナイロンケースの耐薬品性

種類	薬品名	使用用途例	材質	
			ポリカーボネート	ナイロン
酸	塩酸 硫酸 リン酸 クロム酸	金属の酸洗い液	△	×
アルカリ	カ性ソーダ カ性カリ 消石灰 アンモニア水 炭酸ソーダ	金属の脱脂 工業塩 水溶性切削油	×	○
無機塩	硫化ソーダ 硝酸カリ 硫酸ソーダ	—	×	△
塩素系溶剤	四塩化炭素 クロロホルム 塩化エチレン 塩化メチレン	金属の洗浄液 印刷インク 希釈	×	△
芳香族類	ベンゼン トルエン シンナー	塗料 ドライクリーニング	×	△
ケトン類	アセトン メチルエチルケトン シクロヘキサン	写真用フィルム ドライクリーニング 繊維工業	×	×
アルコール類	エチルアルコール IPA メチルアルコール	不凍剤 接着剤	△	×
オイル類	ガソリン 灯油	—	×	○
エステル類	フタル酸ジメチル フタル酸ジエチル 酢酸	合成油 防錆油の添加剤	×	○
エーテル類	メチルエーテル エチルエーテル	ブレーキ油の添加剤	×	○
アミン類	メチルアミン	切削油 ブレーキ油の添加剤 ゴム促進剤	×	×
その他	ネジロック液 海水 リークテスター	—	×	△

○: ほぼ安全 △: 一部影響を受けることがある ×: 影響を受ける

- ③ 紫外線が当たる場所や周囲に熱源がある場合には、紫外線や輻射熱を遮蔽してください。

⚠ 注意

- ① 真空破壊による瞬間的な加圧(0.5MPa 以下)以外は、加圧下での使用はしないでください。

選 定

⚠ 警告

- ① 内部の摺動部やパッキンなどにグリスを使用していますので、出口側に流出する場合があります。
 ② 空気中に含まれる油分を除去することはできません。
 ③ 水滴をより除去したい場合は、真空用ドレンセパレータ(AMJ)を推奨致します。

取 付

⚠ 警告

- ① 運搬及び取付け時に落下などによる衝撃を加えないようにしてください。製品の破損や作動不良の原因となります。
 ② 取付け場所は、湿度及び温度の高い場所には使用しないでください。仕様範囲外でのご使用は、製品の破損や寿命の低下や作動不良の原因となります。
 ③ 空気の入口と出口を示す“1”と“2”の表示または、矢印の向きを確認して接続してください。逆接続は正常な機能を得られません。
 ④ 製品の下側には、ケースの取付け、取外しのためのスペースを設けてください。スペースについては、「11.外形寸法図」(P18)をご参照ください。

配 管

⚠ 警告

- ① 配管前に配管などのフラッシング或は洗浄を十分行い、管内の切粉、切削油、固形異物などを除去してください。これらが管内に残っていると作動不良の原因になります。
 ② 配管や継手類をねじ込む場合には、配管ねじの切粉やシール材が機器内部に入り込まないようにしてください。なお、シールテープを使用される場合は、ねじ部先端を 1 山残して巻いてください。
 ③ 配管材のねじ込みは、めねじ側を保持して推奨締付トルクで行ってください。締付トルクが不足していると緩みやシール不良の原因となります。過剰なトルクで締付けるとねじ破損などの原因となります。また、めねじ側を保持せずに締付け作業を行うとブラケットなどに直接過大な力が作用し、破損などの原因となります。

推奨締付トルク 単位:N・m

接続ねじ	1/8	1/4	3/8	1/2
トルク	3~5	8~12	15~20	20~25

- ④ 当社の管継手、Sカプラーをねじ込む場合は、管継手&チューブ/共通注意事項の接続ねじの締込方法をご参照ください。
 ⑤ 機器の自重以外のねじりモーメント、曲げモーメントがかからないようにしてください。破損の原因になりますので、外部配管類は別に支持してください。また、鋼管配管などの柔軟性がない配管は、配管側からの過大なモーメント荷重や振動の伝播を受け易いので、フレキシブルチューブなどを介在させて、それらが作用しないようにしてください。

空 気 源

⚠ 警告

- ① 清浄な空気をご使用ください。空気中に化学薬品、有機溶剤、合成油、腐食性ガスなどを含んでいますと部品の破損や作動不良の原因となりますので、使用しないでください。

保 守 点 検

⚠ 警告

- ① 部品交換や配管を取外す前には必ず製品内部の圧力を大気圧に戻してから作業をおこなってください。
- ② 取扱説明書の手順で実施してください。取扱いを誤ると、機器や装置の破壊、作動不良の原因となります。
- ③ 樹脂ケースのクラック、傷、その他の劣化を検出するために定期点検を実施してください。クラック、傷、その他の劣化が確認された場合は、破損の原因になりますので、新しいケースに交換してください。なお、必要に応じて使用環境の調査・見直しを実施してください。
- ④ 樹脂ケースの汚れを定期的に確認してください。汚れが確認された場合には、新しいケースに交換してください。洗浄する場合には家庭用中性洗剤のみを使用してください。これ以外の洗剤などを使用しますと、ケース破壊の原因になりますので絶対に避けてください。
- ⑤ エレメントの交換時期は、使用后 2 年間または、使用初期の出口圧力に対する圧力降下が 20kPa になるまでに行ってください。エレメントの破壊原因となります。
- ⑥ AFJ20-D は、ドレンの水位がバツフルに達する前に、ケース内のドレンを排出してください。AFJ30-D、AFJ40-D は、ドレンの水位がケースに示すドレン上限レベルに達する前に、ケース内のドレンを排出してください。出口側にドレンが流入すると、機器の作動不良の原因となります。なお、ドレンの排出は、ケース内が大気圧になっていることを確認し、ケースを取外して行ってください。ケースの取外し方法は、「9-1.ケースアセンブリ交換」(P13～P14)を参照してください。

⚠ 注意

- ① エレメントを繰り返し利用する場合は、エアブロー、または家庭用中性洗剤による洗浄を行ってください (40 μ m、80 μ m 用)。エレメントの状態を確認して頂き、仕様を満足しない場合は、新品へ交換してください。
- ② 定期的にエレメントを点検し、必要に応じて交換してください。使用時において、出口圧力が通常より低下したり、流れにくくなった場合には、エレメントを点検してください。
- ③ 40 μ m、80 μ m 用エレメントのメッシュ部に過剰な力を加えないでください。メッシュが剥離する原因となります。

2. 用途

本器は、真空用エアラインの一定量の水滴と固形異物の除去を目的とするものです。

3. 標準仕様

型式		AFJ20-D		AFJ30-D		AFJ40-D			
管接続口径		1/8	1/4	1/4	3/8	1/4	3/8	1/2	
使用流体		空気							
周囲温度および使用流体温度		-5~60 °C(凍結なきこと)							
保証耐圧力		0.5 MPa							
使用圧力範囲		-100~0 kPa							
真空破壊圧力		0.5 MPa以下							
ろ過度 ^{注1)~注4)}		5 μm、40 μm、80 μm							
ドレン貯留量		8 cm ³		25 cm ³		45 cm ³			
ケース材質		ポリカーボネート							
ケースガード		-		標準装備(ポリカーボネート)					
推奨流量 ^{注5)} [L/min(ANR)]	水滴除去タイプ (-S)	5 μm	80	100	180	230	200	310	370
		40 μm	100	130	210	340	230	390	500
		80 μm							
	大流量タイプ (-T)	5 μm	100	140	190	250	210	350	440
		40 μm	120	180	230	380	250	480	660
		80 μm							
質量		0.09 kg		0.17 kg		0.35 kg			

注1) 5 μm用エレメントは、ろ過度5 μm相当の不織布を使用しています。

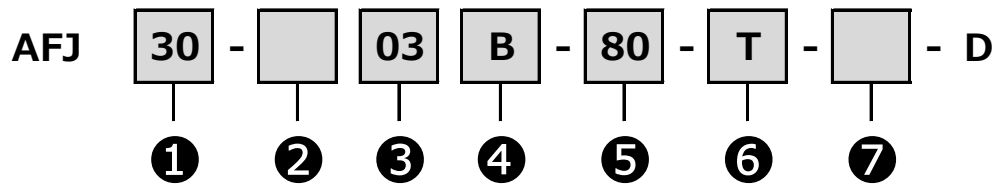
注2) 40 μm用エレメントは、開口40 μm相当の樹脂メッシュを使用しています。

注3) 80 μm用エレメントは、開口80 μm相当の樹脂メッシュを使用しています。

注4) 40 μm(80 μm)のエレメントで補足できる固形粒子は、縦x横x高さそれぞれ40 μm(80 μm)以上の形状となります。

注5) 初期圧力損失4kPa時の処理空気量となります。

4. 型式表示方法

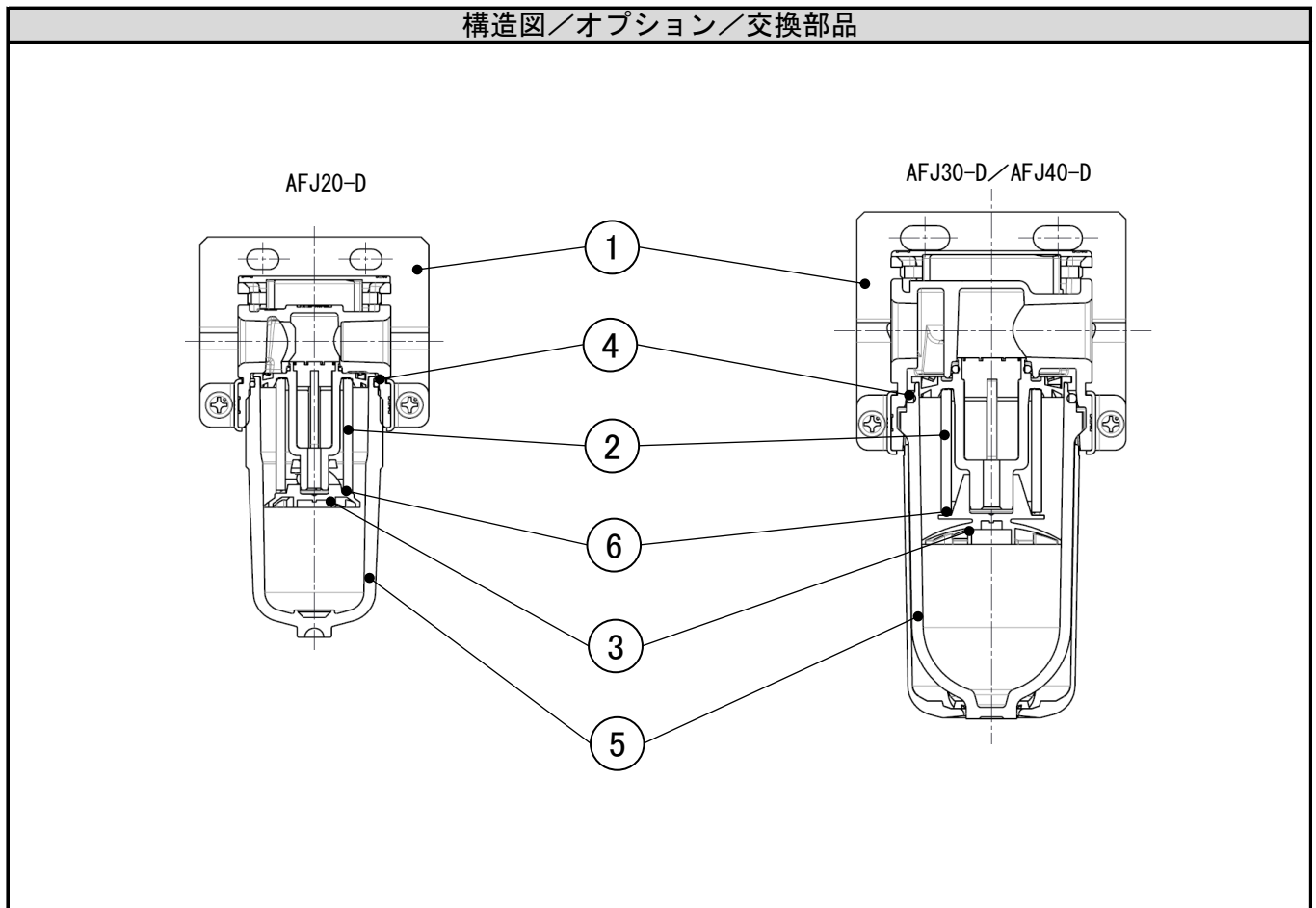


		記号	内容	①				
				ボディサイズ				
				20	30	40		
②	ねじ種類	無記号	Rc	●	●	●		
		N	NPT	●	●	●		
		F	G	●	●	●		
③	管接続口径	01	1/8	●	—	—		
		02	1/4	●	●	●		
		03	3/8	—	●	●		
		04	1/2	—	—	●		
④	ブラケット	無記号	なし	●	●	●		
		B	ブラケット付	●	●	●		
⑤	ろ過度	5	5 μm	●	●	●		
		40	40 μm	●	●	●		
		80	80 μm	●	●	●		
⑥	タイプ	S	水滴除去タイプ	●	●	●		
		T	大流量タイプ	●	●	●		
⑦ 注1)	準標準	a	ケース	無記号	ポリカーボネートケース	●	●	●
				6	ナイロンケース	●	●	●
		b	流れ方向	無記号	流れ方向：左 → 右	●	●	●
				R	流れ方向：右 → 左	●	●	●
		c	単位表記	無記号	製品の単位表記：kPa、℃	●	●	●
				Z	製品の単位表記：psi、°F	○注2)	○注2)	○注2)

注1) アルファベット (a~c) の各項目毎に1つずつ選択できます。

注2) ○は、ねじ種類がNPTの場合のみに適用されます。

5. 構造図／オプション／交換部品



オプション

部品番号	部品名	部品品番		
		AFJ20-D	AFJ30-D	AFJ40-D
①	ブラケットアセンブリ <small>注1)</small>	AF24P-070AS	AF34P-070AS	AF44P-070AS

注1) 取付け金具（2種類）と止めねじ（2本）のアセンブリです。

交換部品表

部品番号	部品名	部品品番			
		AFJ20-D	AFJ30-D	AFJ40-D	
②	フィルタエレメント	5 μ m	AF20P-060S	AF30P-060S	AF40P-060S
		40 μ m	AF22P-820S	AF32P-820S	AF42P-820S
		80 μ m	AF22P-830S	AF32P-830S	AF42P-830S
③	バツフル	AF24P-040S	AF34P-040S	AF44P-040S	
④	ケースパッキン	C2SFP-260S	C32FP-260S	C42FP-260S	
⑤	ケースアセンブリ <small>注2)</small>	「6. ケースアセンブリ仕様」(P10)をご参照ください。			
⑥	パッキン <small>注3)</small>	AW22P-070S	AW32P-070S	AW42P-070S	

注1) 表中および構造図の番号は「9. 交換作業要領」(P13~16)、「10. 分解図」(P17)の部品番号に一致しております。

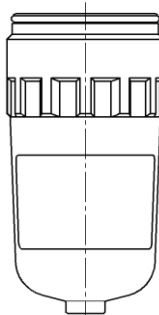
注2) ケースアセンブリには、ケースパッキンが付属となります。

注3) パッキンは、40 μ m、80 μ m仕様のエレメントに使用します。

6. ケースアセンブリ仕様

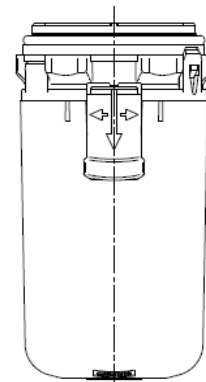
6-1. AFJ20-D 用ケースアセンブリ

準標準記号	—	6
外観図 及び 部品番号	準標準記号：—（標準）	
	管接続 ねじ種類	⑤ 部品番号
	Rc	C2SJ-D
	G	C2SJ(-Z)-D
	NPT	C2SJ(-Z)-D
	準標準記号：6	
	管接続 ねじ種類	⑤ 部品番号
	Rc	C2SJ-6-D
	G	C2SJ-6(Z)-D
	NPT	C2SJ-6(Z)-D



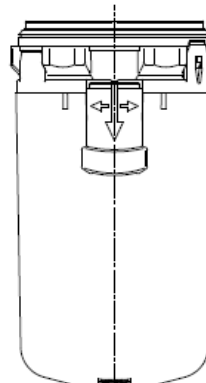
6-2. AFJ30-D 用ケースアセンブリ

準標準記号	—	6
外観図 及び 部品番号	準標準記号：—（標準）	
	管接続 ねじ種類	⑤ 部品番号
	Rc	C3SJ-D
	G	C3SJ(-Z)-D
	NPT	C3SJ(-Z)-D
	準標準記号：6	
	管接続 ねじ種類	⑤ 部品番号
	Rc	C3SJ-6-D
	G	C3SJ-6(Z)-D
	NPT	C3SJ-6(Z)-D



6-3. AFJ40-D 用ケースアセンブリ

準標準記号	—	6
外観図 及び 部品番号	準標準記号：—（標準）	
	管接続 ねじ種類	⑤ 部品番号
	Rc	C4SJ-D
	G	C4SJ(-Z)-D
	NPT	C4SJ(-Z)-D
	準標準記号：6	
	管接続 ねじ種類	⑤ 部品番号
	Rc	C4SJ-6-D
	G	C4SJ-6(Z)-D
	NPT	C4SJ-6(Z)-D



注1) ⑤部品番号には、④ケースパッキンが含まれます。「10. 分解図」(P17)を参照してください。

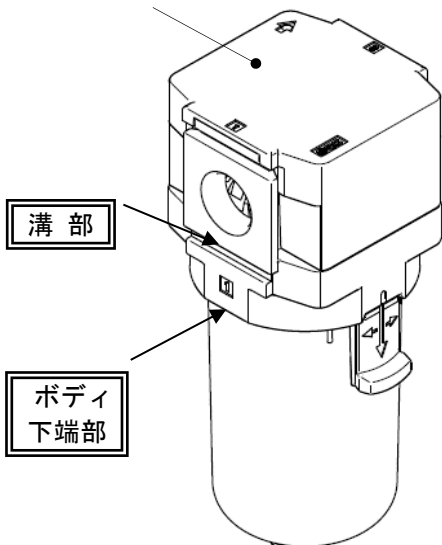
注2) ⑤部品番号中の「Z」は準標準仕様で、圧力、温度の単位表記が、psi、°Fとなります。

注3) 準標準記号については、「4. 型式表示方法」(P8)を参照してください。

7. オプション品の組立

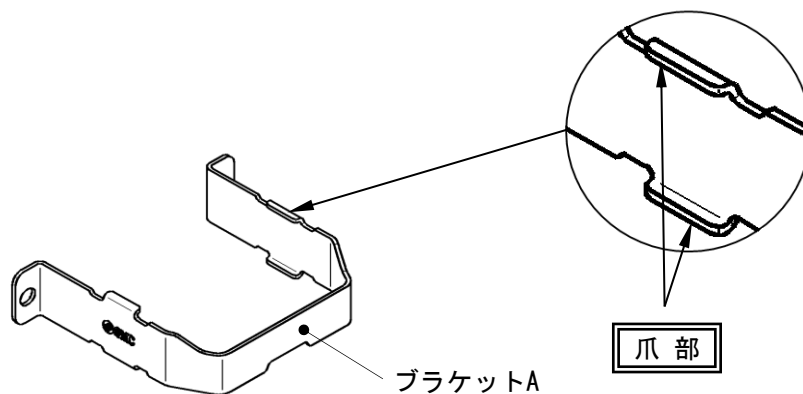
ブラケット

真空用フィルタ

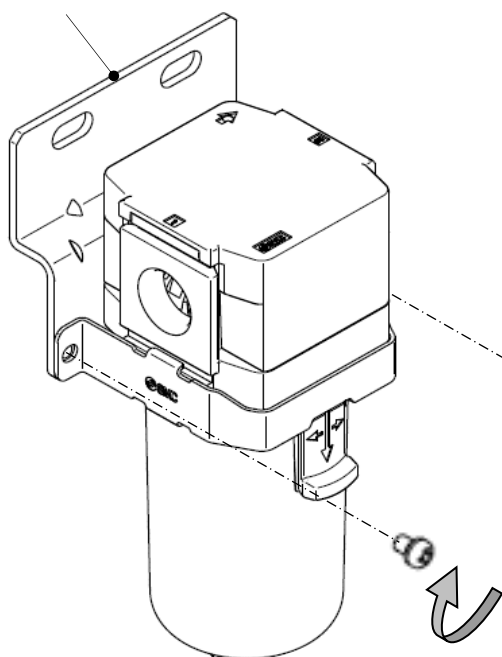


1) ブラケットA取付

ブラケットAの爪部が真空用フィルタの溝部とボディ下端部に引っ掛かるように真空用フィルタの正面側からブラケットAを差し込みます。



ブラケットB



2) ブラケットB取付け

同梱の止めねじ（2本）で、図の向きにブラケットBを固定します。ねじの締付トルクは以下をご参照ください。

型式	工具	締付トルク
AFJ20-D	ドライバ (+)	0.75±0.2 N・m
AFJ30-D		
AFJ40-D		

止めねじ
(2本)

8. 故障と対策

「9. 交換作業要領」(P13~16)、及び 「10. 分解図」(P17)を参照してください。

故 障		原 因	対 策	参照ページ
区分	現 象			
流量	圧力降下が大きく流量が流れない。	エレメントが目詰まりしています。	エレメントを交換してください。	P13~16
真空度が下がらない	ケースとボディの間からエアが吸い込まれる。	ケースパッキンが損傷しています。	ケースパッキンを交換してください。 ケースパッキンを交換する際は、グリスアップしてから組付してください。(注)	P13~14
	ケースからエアが吸い込まれる。	ケースが破損しています。	ケースアセンブリを交換してください。	P13~14
操作性他	出口側の配管にドレンが異常に出る。	ドレンの液面がバッフル以上に達しています。	ケースを外してドレンを排出し、エレメントを交換してください。	P13~16

注) フッ素系グリスを推奨します。

9. 交換作業要領

⚠ 警告

交換作業前には、本機器内に圧力が無い事を必ず確認してください。

交換作業後は、必ず所定の機能を満足することと、漏れがないことを確認してから装置を作動させてください。

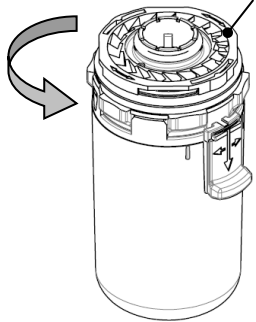
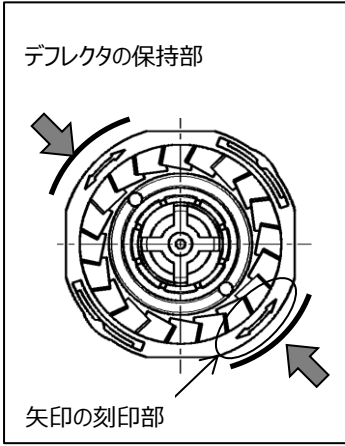
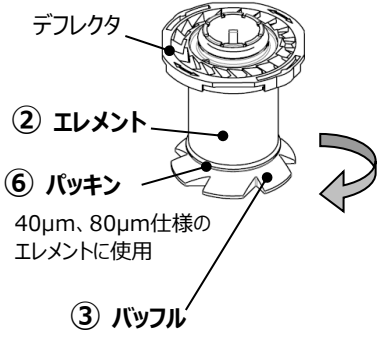
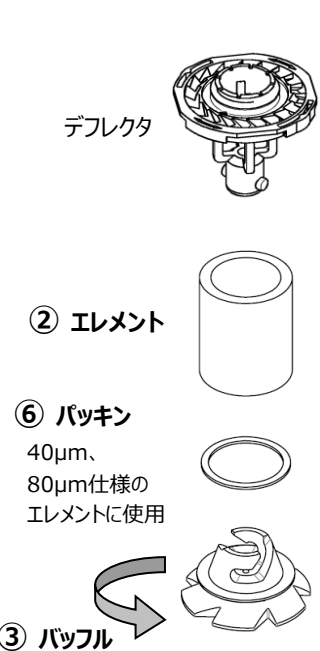
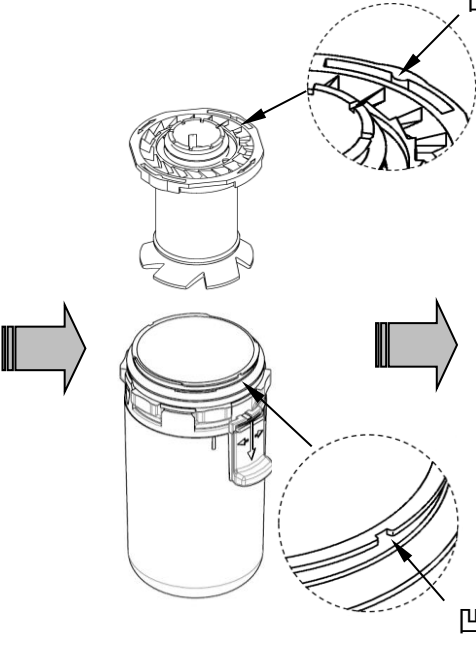
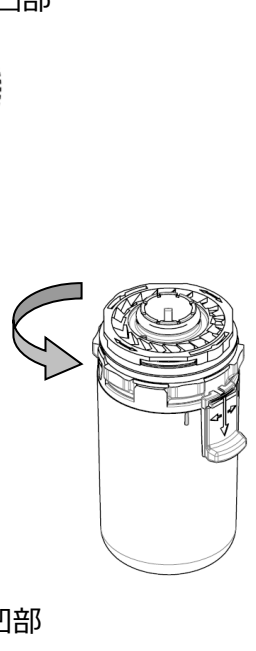
9-1. ケースアセンブリ交換

適応機種	作業区分	作業手順	使用工具類	管理項目
AFJ20-D	分解	1) 製品からケースアセンブリを外取します。 堅い場合には、SMC専用スパナを使用して緩めた後、手で取外してください。	SMC専用スパナ 品番：1129129	—
	<p>製品</p> <p>⑤ ケースアセンブリ</p> <p>エレメントアセンブリ 予めエレメントアセンブリを取外すと、ケースパッキンの交換が容易になります。 エレメントアセンブリの取外しは、「9-2. エレメント交換」(P15)を参照してください。</p> <p>④ ケースパッキン</p>			
	作業区分	作業手順	使用工具類	管理項目
	組付	1) ケースアセンブリを製品にねじ込みます。 右記参考トルクを目安に締付けてください。	—	参考締付トルク：2.1 N・m
<p>製品</p> <p>⑤ ケースアセンブリ</p>				

適応機種	作業区分	作業手順	使用工具類	管理項目
AFJ30-D AFJ40-D	分解	<p>1) 製品からケースアセンブリを取外します。ロックボタンを引下げた状態で約30度回転させ、製品とケースアセンブリの合いマークが合う位置で下方へ引抜いて取外します。</p> <p>エレメントアセンブリ 予めエレメントアセンブリを取外すと、ケースパッキンの交換が容易になります。エレメントアセンブリの取外しは、「9-2. エレメント交換」(P16) を参照してください。</p> <p>④ ケースパッキン</p> <p>⑤ ケースアセンブリ</p> <p>合いマークを合わせる ボディ側合いマーク ケースアセンブリ側合いマーク</p> <p>製品</p> <p>【手順1】 ロックボタンを引下げ</p> <p>ロックボタン</p> <p>【手順2】 30度回転</p> <p>【手順3】 下方へ引抜き</p>	-	-
作業区分		作業手順	使用工具類	管理項目
組付		<p>1) ケースアセンブリを製品に装着し、ロックボタンが製品の溝に対して図の位置になるまでケースアセンブリを回転させてください。</p> <p>製品</p> <p>⑤ ケースアセンブリ</p> <p>ロックボタン</p> <p>【手順2】 30度回転</p> <p>【手順1】 上方へ差込み</p> <p>注意 使用前には、ロックボタンが製品の溝にロックされていることを確認してください</p>	-	-

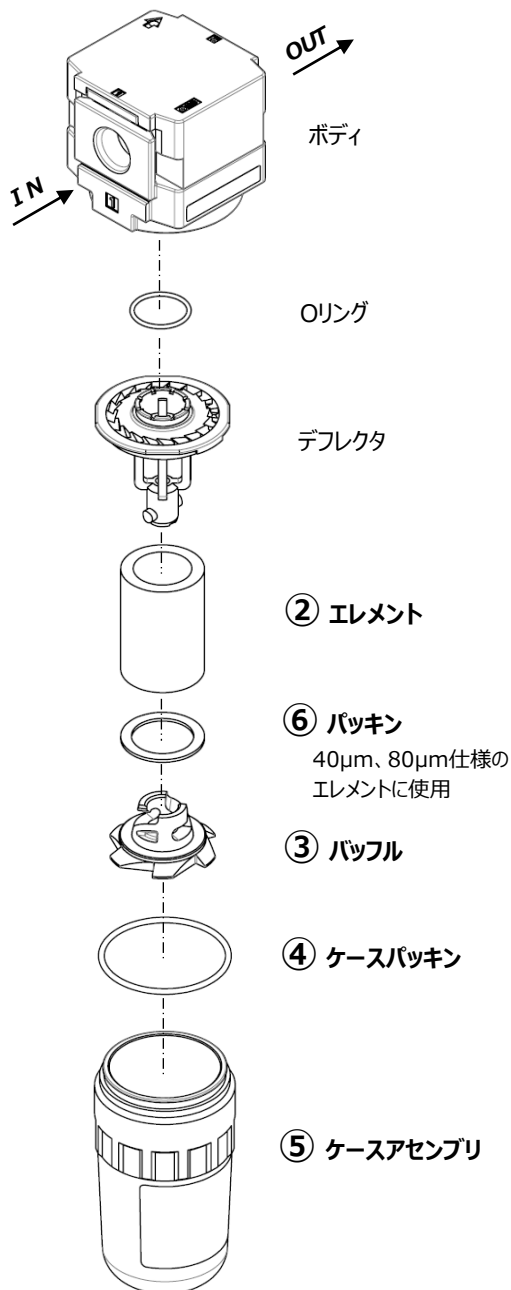
9-2. エLEMENT交換

適応機種	作業区分	作業手順	使用工具類	管理項目
AFJ20-D	分解	<p>1) 「9-1. ケースアセンブリ交換」 (P13) に沿ってケースアセンブリを外し、デフレクタのスナップフィット (2ヶ所) を外してELEMENTアセンブリを外してください。</p> <p>2) バッフルを矢印の向きに90度回転させてELEMENTアセンブリからELEMENTとパッキン (40μm、80μm仕様の場合) を外してください。</p>	-	-
<div style="text-align: center;"> <p>【手順1】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">上方へ引抜き</div> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【手順2】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">90度回転</div> </div>				
	作業区分	作業手順	使用工具類	管理項目
	組付	<p>1) ELEMENTをデフレクタに装着し、パッキンをバッフルに装着後 (40μm、80μm仕様の場合)、バッフルを矢印の向きに90度回転させてELEMENTを取付けてください。</p> <p>2) ケースアセンブリにデフレクタのスナップフィット (2ヶ所) が引っ掛かるまでデフレクタを押し込んでください。ケースアセンブリは、「9-1. ケースアセンブリ交換」 (P13) に沿って取付けてください。</p>	-	-

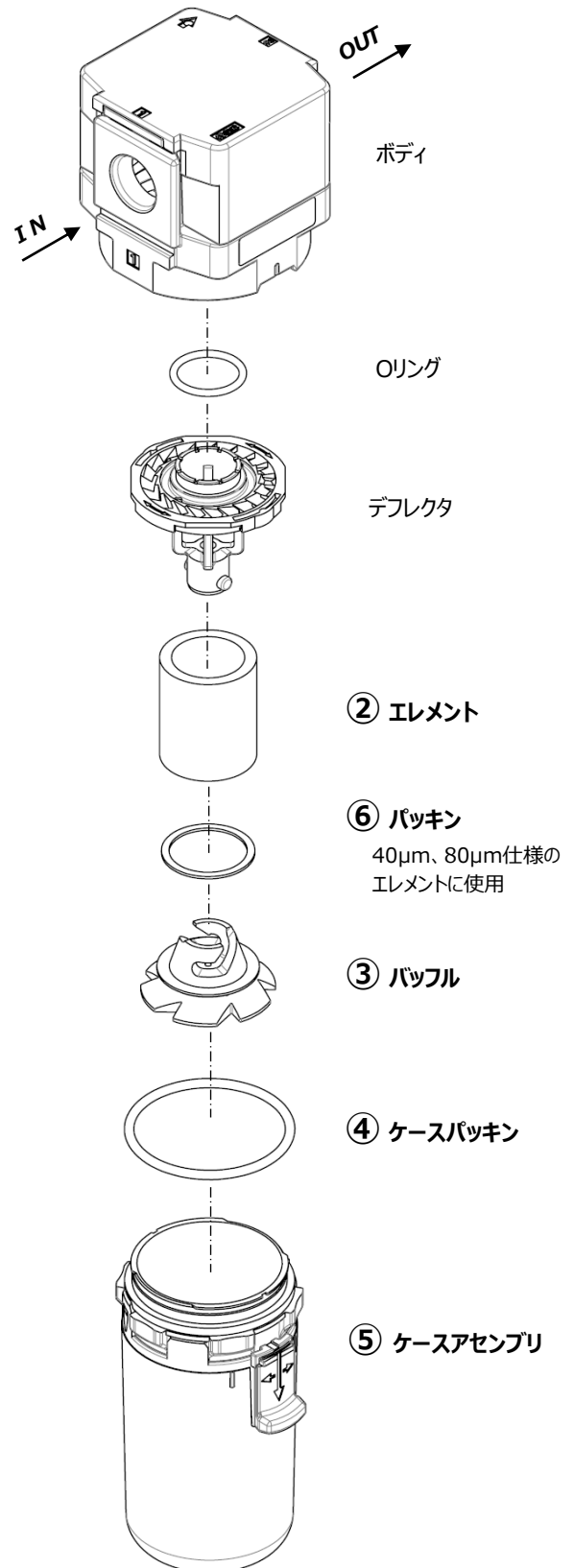
適応機種	作業区分	作業手順	使用工具類	管理項目
AFJ30-D AFJ40-D	分解	1) 「9-1. ケースアセンブリ交換」(P14) に沿ってケースアセンブリを外し、デフレクタの保持部をつまんで90度回転させてください。 2) デフレクタの保持部をつまんで上方へ引き、エレメントアセンブリを外します。 3) パッフルを矢印の向きに90度回転させてエレメントアセンブリからエレメントとパッキン(40 μ m、80 μ m仕様の場合)を外してください。	-	-
		<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>【手順1】</p> <p>90度回転</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【手順2】</p> <p>上方へ引抜き</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【手順3】</p> <p>90度回転</p>  </div> </div>	-	-
	組付	1) エレメントをデフレクタに装着し、パッキンをパッフルに装着後(40 μ m、80 μ m仕様の場合)、パッフルを矢印の向きに90度回転させてエレメントを取付けてください。 2) エレメントアセンブリをケースアセンブリに装着してください。 3) エレメントアセンブリを左右どちらかに90度回転させて、エレメントアセンブリの凸部とケースアセンブリの凹部を吻合させます。ケースアセンブリは、「9-1. ケースアセンブリ交換」(P14) に沿って取付けてください。	-	-
		<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>【手順1】</p> <p>90度回転</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【手順2】</p> <p>エレメントアセンブリ装着</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【手順3】</p> <p>90度回転</p>  </div> </div>	-	-

10. 分解図

AFJ20-D

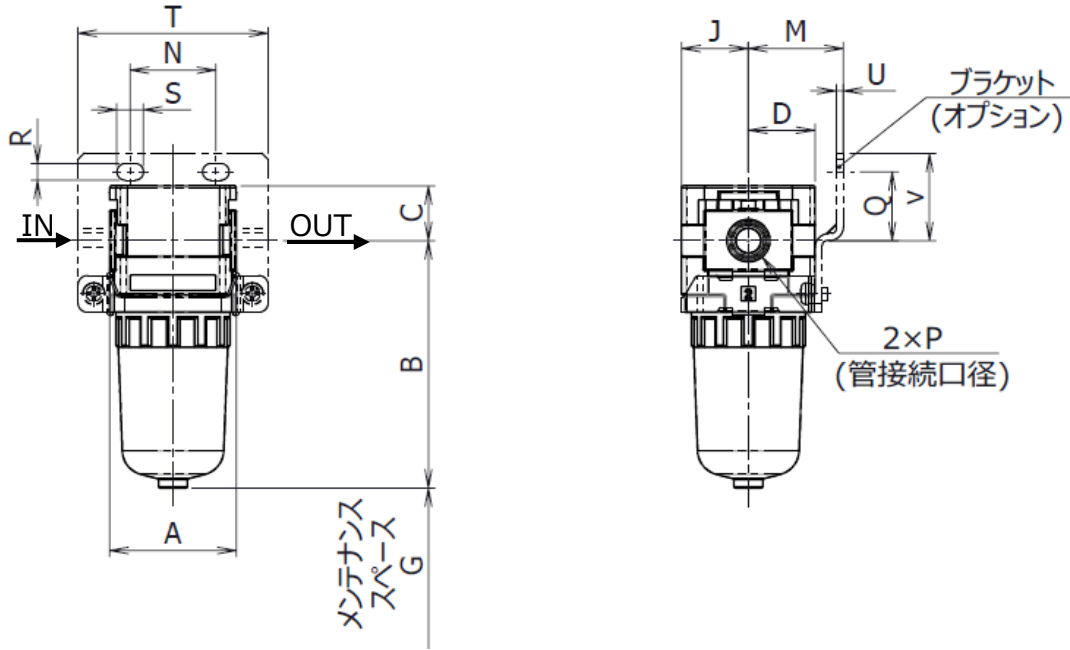


AFJ30-D, AFJ40-D

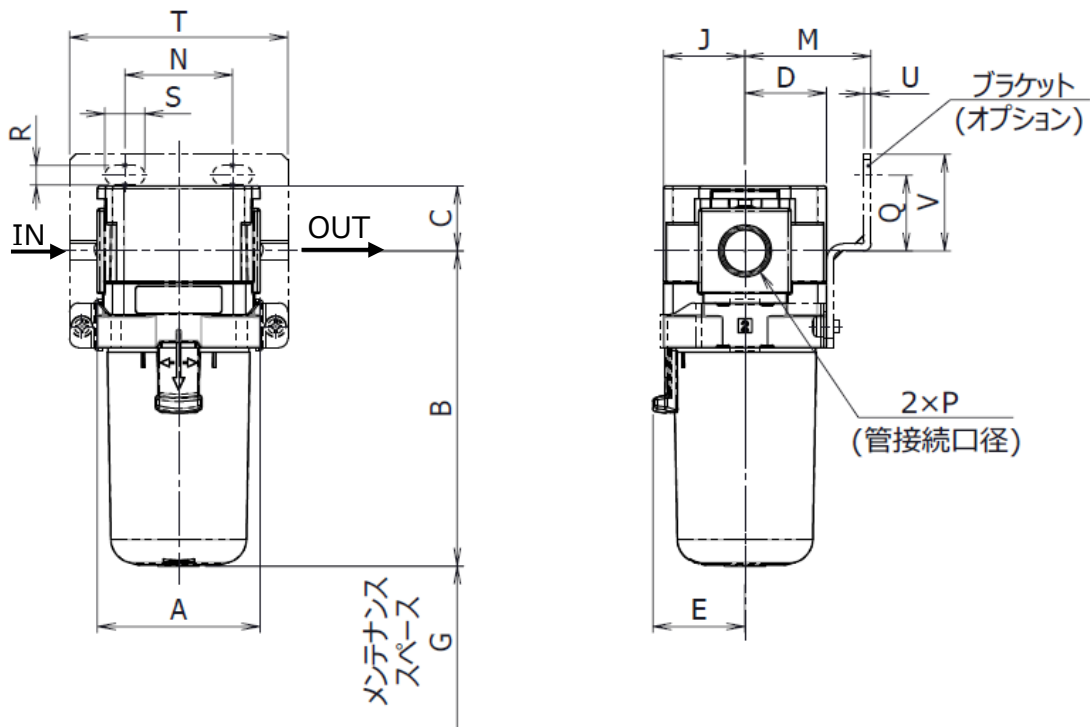


11. 外形寸法図

AFJ20-D



AFJ30-D～AFJ40-D



型式	標準仕様								オプション仕様							
									ブラケット取付寸法							
	P	A	B	C	D	E	G	J	M	N	Q	R	S	T	U	V
AFJ20-D	1/8・1/4	40	79.3	18	21	—	25	21	30	27	22	5.4	8.4	60	2.3	28
AFJ30-D	1/4・3/8	53	104.3	22	27	30	35	27	41	35	25	6.5	13	71	2.3	32
AFJ40-D	1/4・3/8・1/2	70	136.1	26	36	38	40	36	50	52	30	8.5	13	88	2.3	39

改訂履歴

SMC株式会社 お客様相談窓口

URL <https://www.smcworld.com>

本社 / 〒101-0021 東京都千代田区外神田 4-14-1 秋葉原 UDX 15F

 **0120-837-838**

受付時間/9:00~12:00 13:00~17:00【月~金曜日, 祝日, 会社休日を除く】

⑧ この内容は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

© SMC Corporation All Rights Reserved